

春日部市立医療センター

施設概要

市役所の隣接地に地域の中核的医療機関として、平成28年オープン。

ユニバーサルデザイン、バリアフリーを徹底しているほか、免震構造、ガス発電設備の導入など災害対応機能を強化しています。

雨水のほか、太陽光発電、自然採光により自然エネルギーの有効利用を行っています。



雨水の用途

トイレの洗浄水

業務用の汚物流しの洗浄水



※ 病院の業務で雨水を利用しているのが特徴です。

※ 非常用発電機を備えているので、非常用水として利用が可能。

効果

水道使用量削減

雨水を年間約1,760m³利用。

雨水流出抑制

大雨の際、雨水を貯留し、河川や下水道に一度に流れるのを防止。

雨水の有効利用PR

雨水の有効利用をホームページ等でPR。

担当者の声

雨水の貯留槽は雨水の流出抑制施設も兼ねています。

雨水が貯留槽の容量の10%を超えた場合は、流出抑制の容量を確保するため雨水を排出しています。

雨水の利用が多い6月から10月には、洗浄水に色がつくことがあります、気になるほどではありません。また、洗浄水にはお臭いはありません。

雨水設備の状況



集水

屋上のほか、敷地内の側溝や植栽内の雨水ますで、雨を集めます。



雨水貯留槽

機械室地下の雨水の貯留槽は、雨水流出抑制施設も兼ねています。



雨水ろ過設備

集めた雨水をろ過します。



雑用水管

雨水が足りない場合は井戸水や水道水を補給します。消毒後、利用先へ。

雨水活用施設データ

所在地	春日部市中央六丁目7番地1		
施設の用途	医療機関		
建物の延床面積	27,237㎡(本体棟)	集水面積	12,437㎡
雨水の利用開始	平成28年(2016年)3月		
雨水の用途	トイレの洗浄水、業務用の汚物流しの洗浄水		
集雨場所	建物屋上のほか、敷地全体(敷地内の側溝、雨水ます)		
貯水場所	機械室の地下	貯留容量	600㎡
年間の雨水使用量	約1,760㎡(平成29年度)		
雨水不足時の対応	井戸水、水道水を使用		